2015 年 10 月 29 日

野村不動産ホールディングス株式会社

（コード番号：3231　東証第一部）

報道関係者各位

2016年３月期　第２四半期連結決算のお知らせ

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区　取締役社長：沓掛　英二）は、本日、2016年３月期第２四半期連結決算（2015年４月１日～2015年９月30日）を確定しましたので、お知らせいたします。なお、詳細については、「平成28年３月期　第２四半期決算短信」を合わせてご参照下さい。

＜ハイライト＞

■2016年３月期第２四半期の連結業績は、売上高が2,929億円（前年同期比20.5%増）、営業利益が407億円（同39.5%増）、経常利益が365億円（同48.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が224億円（同92.3%増）と、大幅な増収増益となり、第２四半期としては、売上高、各利益とも過去最高を更新しました。

■住宅事業セグメント・・・住宅分譲部門では、マンションと一戸建てを合わせた計上戸数が3,417戸（前年同期比490戸増）と、前年同期と比べ、大幅な増加となりました。これは、「Tomihisa Cross コンフォートタワー」（東京都新宿区）や「桜上水ガーデンズ」（東京都世田谷区）をはじめとする、都心大型物件を計上したこと等によります。また、通期の売上計上予定6,150戸に対する当第２四半期末時点での契約進捗率は、88.2%と引続き順調に推移しております。

■賃貸事業セグメント・・・賃貸部門では、当第２四半期末時点の空室率は3.4%（前期末比1.1ポイント減）と、改善しております。これは主に、「浜松町ビルディング」（東京都港区）においてテナントリーシングが順調に進捗したこと等によります。

■通期業績予想の修正・・・現時点までの事業の進捗状況と今後の見通しを勘案した結果、期初に発表した業績予想から、売上高を100億円減（1.7%減）の5,750億円、営業利益を30億円増（4.1%増）の760億円、経常利益を30億円増（4.7%増）の670億円、親会社株主に帰属する当期純利益を20億円増（5.3%増）の400億円に修正いたしました。なお、通期に関しても、売上高、各利益ともに過去最高を更新する見通しです。

■配当予想の修正・・・2016年３月期の配当金は、従来予想として、１株当たり第２四半期、期末とも25円、年間50円としておりましたが、今後の経営環境や業績の見通しを踏まえ、１株当たり第２四半期、期末とも27.5円とし、合わせて年間55円と、従来予想から5円増やす予定です。また、前期比では、１株当たり10円の増配となる予定です。なお、詳細については、「剰余金の配当及び配当予想の修正に関するお知らせ」を合わせてご参照下さい。

以　上

（添付資料）

平成28年３月期　第２四半期決算短信

2016年３月期　第２四半期決算短信補足資料

本件に関するお問い合わせ窓口

野村不動産ホールディングス株式会社　広報IR部（宇佐美・上羽）

TEL03－3348－8117　・　FAX03－3343－0445